

完了報告書

活動の写真

インド共和国
ビハール州における村落開発事業

平成24年3月16日～平成25年3月15日

特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会

1. コミュニティセンター建設



完成した Jamuaha 村コミュニティセンター



完成した Jamuaha 村コミュニティセンター



完成した Jamuaha 村コミュニティセンター



完成した Jamuaha 村のコミュニティセンターで勉強している子供たち



完成した Korlahi 村コミュニティセンター



完成した Korlahi 村コミュニティーセンター



完成した Korlahi 村コミュニティセンター



完成した Korlahi 村コミュニティセンター で勉強している 50 人の子どもたち。夜は女性やその他の会議に利用されている。



完成した Sukhasen 村コミュニティセンター



完成した Sukhasen 村コミュニティセンター



完成した Sukhasen 村コミュニティーセンター



完成した Sukhasen 村コミュニティーセンター で勉強している子供たち

コミュニティーセミナーの開催 (2-1 モビリゼーションセミナー)



モビリティセミナーで挨拶をする村落開発委員長の女性



熱心にセミナーを受講する参加者たち

コミュニティーセミナーの開催 (2-2 コミュニティー開発セミナー)



専門家佐藤が経済、文化、政治のバランスの取れたコミュニティー開発について説明した。



男女差別、貧困、低い農業生産、チャイルドレイバー、移民問題、搾取、低教育などの問題点があげられた。

コミュニティーセミナーの開催 (2-3 リーダーシップセミナー)



3か村の村落開発委員、農民グループと女性グループリーダー合計 171 人が参加した。



グループに分かれて3～5年ビジョンを設定した。ビジョン達成の阻害要因を明確にし、課題を乗り越える計画をまとめた。

コミュニティーセミナーの開催（2-4 農業研修／水耕栽培）



陶芸技術を持つ村人を訪れ、水耕栽培に適した容器作成を確認する日本人の専門家



日本の技術について積極的に質問をする村の農民たち

能力向上トレーニング及び啓蒙活動 (3-1 マイクロファイナンス研修)



洪水後に作られた女性の自助グループ。マイクロファイナンスや活動目的を分かり易く説明する現地講師。



研修ではカーストが高い者と低い者とが食事することで交流が深まった。



各村に帰ってメンバー会議を開く女性自助グループ

能力向上トレーニング及び啓蒙活動 (3-2 農業トレーニング)



農業省職員/科学者が助成制度などについて説明。



農業省職員が野菜作物の具体的な害虫対策を教えた。参加者は、稲をネズミから守る方法、実ではなく果樹に働きかける対策などを学んだ。

能力向上トレーニング及び啓蒙活動 (3-3 青年の技術訓練)



自動車整備を学ぶ青年たちの様子。



大工の訓練をする青年たち。家具を作るためにカンナの掛け方を練習する。



溶接トレーニングの様子



裁縫トレーニングの様子

能力向上トレーニング及び啓蒙活動
(3-4 災害防止準備トレーニング)



三角巾を使った頭と腕の怪我の応急処置を実演。

能力向上トレーニング及び啓蒙活動（3-5 子供のケア
について学校の先生を対象としたトレーニング）



参加者は互いの幼少期や生徒とのやり取り、教授方法など経験と知恵を紹介しあった。



グループワークの成果を発表する先生たち。

能力向上トレーニング及び啓蒙活動
(3-6 路上講演／演劇による啓蒙活動)



練習の風景。熱の入った指導をする講師。インパクトのある劇の出だしを模索する受講生たちと講師。



村の青年たちが、健康、教育、環境、子供の人権をテーマにし、問題点や解決策を演じて啓蒙活動を行った。